

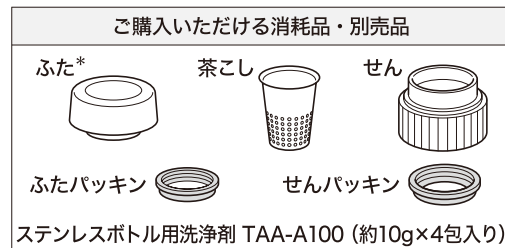
消耗品・別売品のお買い求めについて

ふた・茶こし・せん・各パッキンは消耗品です。(熱や蒸気にふれるため、ご使用にともない傷んでくる場合があります。)

1年を目安にご確認ください。

汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、以下のいずれかでお買い求めの上、交換してください。

- お買い上げの販売店
- タイガーお客様ご相談窓口(下記「連絡先」参照)
- 消耗品・別売品のご購入専用ホームページ(下記「連絡先」参照)



*製品の色柄により異なります。

仕様

サイズ		0.45タイプ
実容量		0.45L
保温効力	1時間	83度以上
	6時間	61度以上
保冷効力(6時間)		8度以下
外形寸法*		幅6.9×奥行6.9×高さ20.2cm
質量*		0.28kg

*おおよその数値です。

連絡先 タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

市内通話料金でご利用いただけます。

※携帯電話・PHSとIP電話等(ナビダイヤルを利用できない電話)の方はこちらへ

TEL (06) 6906-2121

●受付時間 AM9:00~PM5:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除きます。)

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.tiger.jp/>

消耗品・別売品のご購入ホームページ <http://www.tiger.jp/shop.html>

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意を払っておりますが、万一製品が不具合なときは、P.10をご覧ください。それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

- ①製品名
- ②品番(本体底の保護シートに表示)
- ③製品の状況(できるだけ詳しく)
- ④購入日

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

※保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯をせん下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度のときから1時間及び6時間放置した場合におけるその湯の温度です。

※保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水をせん下端まで満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度のときから6時間放置した場合におけるその水の温度です。

※実容量とは、製品付属のせんをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「少なめ容量」ではありません。



TIGER

タイガー魔法瓶

品番

MMR-A 型

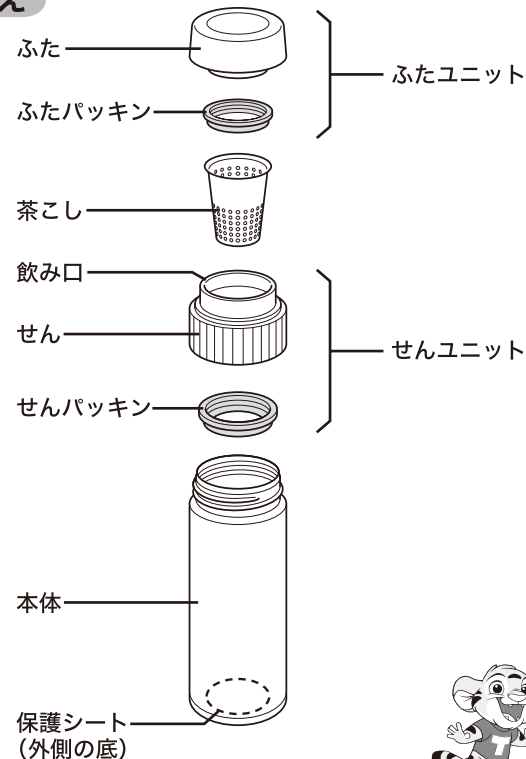
ステンレスミニボトル サハラマグ

SAHARA MUG

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

各部のなまえ



※ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。



© 2003 TIGER CORPORATION

安全上のご注意

本体に貼ってあるご注意に関するシールと 底の保護シートは、はがさないでください。

けがややけどの原因となる、特にお守りいただきたい内容です。

乳幼児の手の届くところには置かない。

また、いたずらに注意する。

やけど・けがなどのおそれ。

熱い飲み物を飲むときは、本体を急に傾けないように注意して、ゆっくりと飲む。

急に傾けると、飲み物が急激に出て、やけどなどのおそれ。

ドライアイス・炭酸飲料などは入れない。

内圧が上がり、せんがあかなかったり、内容物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。

コンロやストーブなど、火気のそばには近づけない。

やけど・変形・変色の原因。

牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。

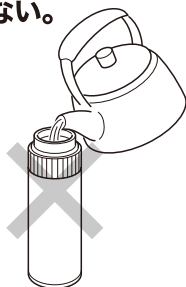
腐敗・変質の原因。また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して本体の内圧が上がり、せんがあかなかったり、内容物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。

電子レンジで加熱しない。

火花が飛んで、けが・故障の原因。

肩部分にヤカンなどの注ぐ容器をあてない。

転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。

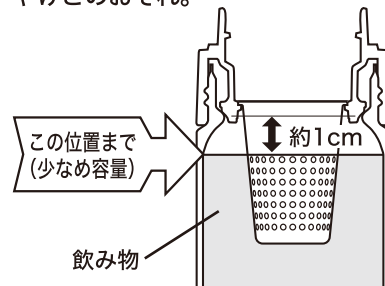


ふたユニット・せんユニットは、確実にしまっていることを確認する。

内容物がもれて、やけどやものを汚す原因。

飲み物の量は、図の位置までにする。

入れすぎると、もれたり、あふれたり、やけどのおそれ。



自動車走行中は使わない。

やけど・車内や衣服を汚す原因。
(また、運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。)

傾けた状態や顔などを近づけた状態であけない。

熱湯を入れた場合、本体の内圧が上がり、湯が急激に出たり、飛散してやけどなどのおそれ。

保温性能が低下したときは使わない。

熱いものを入れると本体が熱くなり、やけどなどのおそれ。

使用中・使用直後は、茶こしをさわらない。

やけどのおそれ。

■ 缶ホルダーを使うとき

● 缶ホルダーを使うときは、あらかじめ強度を確認してから使う。

強度が充分でない場合、ホルダーがはずれたり破損して、やけど・車内や衣服を汚す原因。

● 市販の缶ホルダーは、据え置き型を使う。

ウインドーやエアコン吹出口に取りつける吊り下げ型で使うと、ホルダーがはずれて、やけど・車内や衣服を汚す原因。

飲み物の保温・保冷以外に使わない。

倒したり、落したり、ぶつけたりするなどの強い衝撃を与えない。

破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・塗装はがれ・内容物がもれるおそれ。

分解・修理はしない。

故障や事故の原因。

冷凍庫に入れない。

内容物がもれたり、破損のおそれ。

スポーツ飲料を入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。

外出時など充分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。カビの発生・サビ・穴があくなど故障の原因。

みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れない。

腐敗・変質・サビのおそれ。

かばんや袋に入れたまま放置しない。

周囲の環境(湿度・塩分)などにより、サビ・においの原因。

本体外側がぬれている状態で、かばんなどに入れない。

サビ・におい・汚れの原因。

かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。

横にすると、もれるおそれ。

塩素系漂白剤は使わない。

サビたり、穴があく原因。

ふた・本体の柄やシールを、爪やかたいもので引っかいたり、こすったりしない。

はがれる原因。

本体外側の底に貼ってある保護シートは、はがさない。

はがすと、保温(保冷)効果が低下するおそれ。

本体の横置きはしない。

内容物がもれる原因。

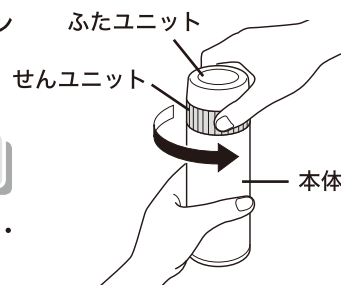
飲み口に残った飲み物はふき取る。

せんユニットをしめたときに、こぼれるおそれ。

使いかた

1 ふたユニット・せんユニット・茶こしをはずす。

ふたにふたパッキン・せんにせんパッキンがついていることを確認する。→表紙



はじめて使うとき

本体内側・ふたユニット・せんユニット・茶こしをお手入れする。→P.7

2 保温(保冷)効果を高めたいときは、少量の熱湯(冷水)を入れ、1～2分予熱(予冷)する。

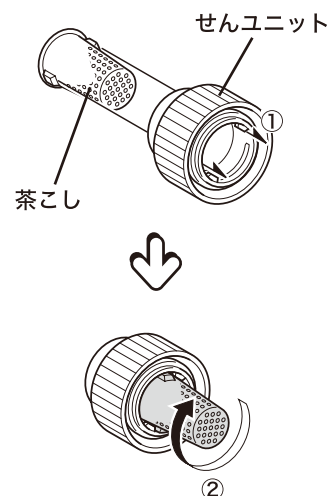
予熱(予冷)後は、お湯(水)をすてる。

3 本体に茶葉を入れ、せんユニットと茶こしを取りつける。

せんユニットに茶こしを取りつける場合は、茶こしの突起部をせん内側の切込み部に合わせ、きっちり止まるまでまわす。

※茶こしに茶葉を入れて使用することもできます。→P.6

※茶葉の量は、4～6gが目安ですが、お茶の種類やお好みで調整してください。

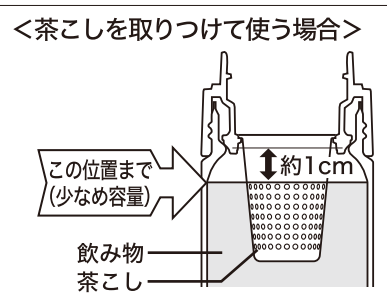
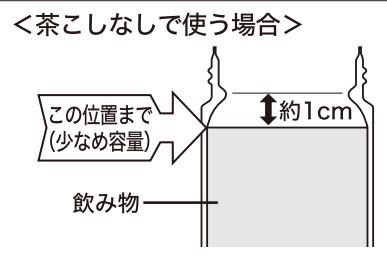


ご注意

- 細かい茶葉を使用した場合、茶が茶こしからもれることがあります。
- せんユニットがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。
- ひもつきのティーバッグを使う場合は、抽出後、必ずティーバッグを取り出す。本体からひもを出したまま、せんユニットをしめると、もれるおそれ。

4 お湯(水)を入れる。

お湯(水)は、入れすぎないように図の位置までにする。



ご注意

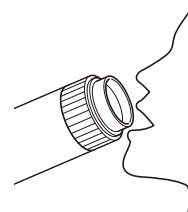
- 本体外側にこぼれたお湯(水)は必ずふき取る。
- 大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。

5 ふたユニットをしめて、しばらく待つ。

- ふたユニットがまわらなくなる位置まで確実にしめる。
- 抽出時間はお好みにより加減してください。
- お茶の種類によっては、お茶の色が変わることがあります。



6 ふたユニットをあけて、飲む。



7 飲み終わったら、本体を立てた状態にして、ふたユニットをしめる。

ふたユニットがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。

ご注意

ふたパッキン・せんパッキン・飲み口部分に茶葉が付着していないか確認する。付着したまま、ふたユニットをしめると、もれるおそれ。

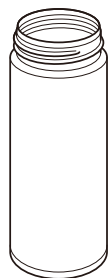


茶こしに茶葉を入れて使用する場合のご注意

- ふたユニットの上に、茶こしを取りつけたせんユニットを置き、本体から直接飲む。
- 茶葉は入れすぎない。
1番上の穴がかくれ
ないようにする。
お湯(水)を注いだと
き、湯量(水量)が見
えなくなります。
- お湯(水)を入れるときは、あふれないように少しずつ注ぐ。お湯(水)を注ぐと、茶葉がふくらみます。
- せんユニットをはずすときは、茶こしにさわらない。やけどのおそれ。
- 茶葉をすてるときは、やけどに注意する。

お手入れのしかた

- ◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆洗剤は、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使う。
- ◆スポンジ・フキンはやわらかいものを使う。
- ◆においを防ぐために、こまめにお手入れする。



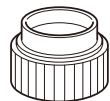
本体



ふたパッキン
(→P.8)



せんパッキン
(→P.8)



せん



ふた



茶こし

- ①洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で十分にすすぐ。
- ②本体外側は、すぐに乾いたフキンで水分をふき取る。
- ③水分を十分に振り切り、乾燥させる。



においを防ぐために

ご使用前や、糖分を含んだ飲み物、お茶を入れた後は、熱湯を入れて注湯をくり返し、充分にお手入れすると、においを防ぎ、清潔にご使用いただけます。

ご注意

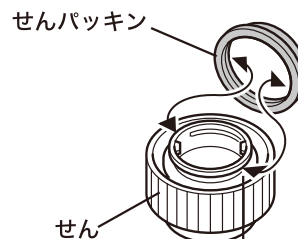
- 本体のつけおき洗いはしない。
- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。
- パッキンは必ず取りつける。
→P.8
- 長期間使わないときは、充分に汚れを落とし、乾燥させる。

パッキンのはずしかた・つけかた

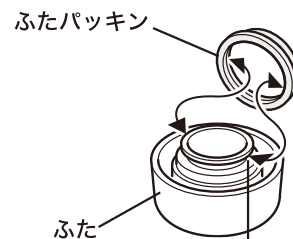
パッキンのふちをつまみながらゆっくりはずす。
つけるときは、パッキンの取り付け方向を確認して奥まできっちりはめ込む。

ご注意

パッキンの取り付け位置、方向をまちがえないようにする。
内容物がもれるおそれ。



せんパッキン



ふたパッキン

本体内側に汚れが目立ってきたときは…

「茶しぶ」や「コーヒー」の汚れなどの場合

汚れは飲み物などに含まれているタンニンや油脂成分によるものです。ステンレスボトル用洗剤TAA-A100（別売品）のご使用をおすすめします。→裏表紙

「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」の場合

汚れは、水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）によるものです。

汚れが目立ってきたら、以下の手順でお手入れしてください。

- ①クエン酸（約10g）をぬるま湯でうすめて本体に入れる。
- ②2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で充分にすすぐ。
- ③充分に乾燥させる。

※クエン酸は、お近くのスーパーや薬局でお買い求めください。

不具合が生じたときは

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた
飲み物がもれる。	▶ ふた・せん・パッキンが確実にセットされていますか。	▶ 確実にセットする。→P.6・8
	▶ ふた・せん・パッキンが破損していませんか。	▶ 破損しているときは、お買い求めの上、交換してください。→裏表紙
	▶ パッキンの取り付け位置、方向をまちがえていませんか。	▶ 確実にセットする。→P.8
	▶ 飲み物を入れすぎていませんか。	▶ 入れすぎないようにする。→P.1・5
	▶ 飲み口に飲み物（茶葉）が残っていませんか。	▶ 飲み物（茶葉）を確実にふき取る。
保温（保冷）が効いていない。	▶ 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸していませんか。→P.7	
	▶ 落としたり、強い衝撃を与えていませんか。→P.2	
	▶ お手入れの際、本体の内側を強く押したり、金属たわしなどを使ったりしていませんか。→P.7	
	▶ 飲み物の量が少なくありませんか。少ないと、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。	
本体内側・ふた・パッキン・せんから異臭がする。	▶ 寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。	
	▶ はじめて使うときは、材料特有のにおいがする場合があります。	▶ お手入れする。→P.7
	▶ 汚れが付着していたり、飲み物を長時間入れたままにいませんか。	▶ お手入れする。→P.7～9
本体を振ると「カシャカシャ」と音がする。	▶ 水道水に含まれるカルキ臭が残る場合があります。	
	▶ 保温（保冷）効力を高めるために、本体内部に入っている金属箔の一部がこすれて出る音で性能に影響はなく、異常ではありません。	